



2019年3月期 決算説明会

株式会社SUBARU

代表取締役社長CEO 中村 知美
2019年5月10日

2019年3月期 通期実績

(億円)

	2018年3月期 実績 (a)	2019年3月期 前回計画 (2019/2/7 発表値) (b)	2019年3月期 実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)	
連結販売台数	1,066.9 千台	996.4 千台	999.9 千台	-67.0 千台	+3.5 千台	
売上高*1	32,327*2	31,200	31,605	-722	+405	
営業利益	3,794	1,850	1,955	-1,839	+105	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,204	1,400	1,478	-725	+78	
為替レート	US\$	¥111	¥110	¥111	-¥1	+¥0
	EURO	¥130	¥129	¥129	-¥0	+¥0
	CAN\$	¥87	¥84	¥85	-¥2	+¥0

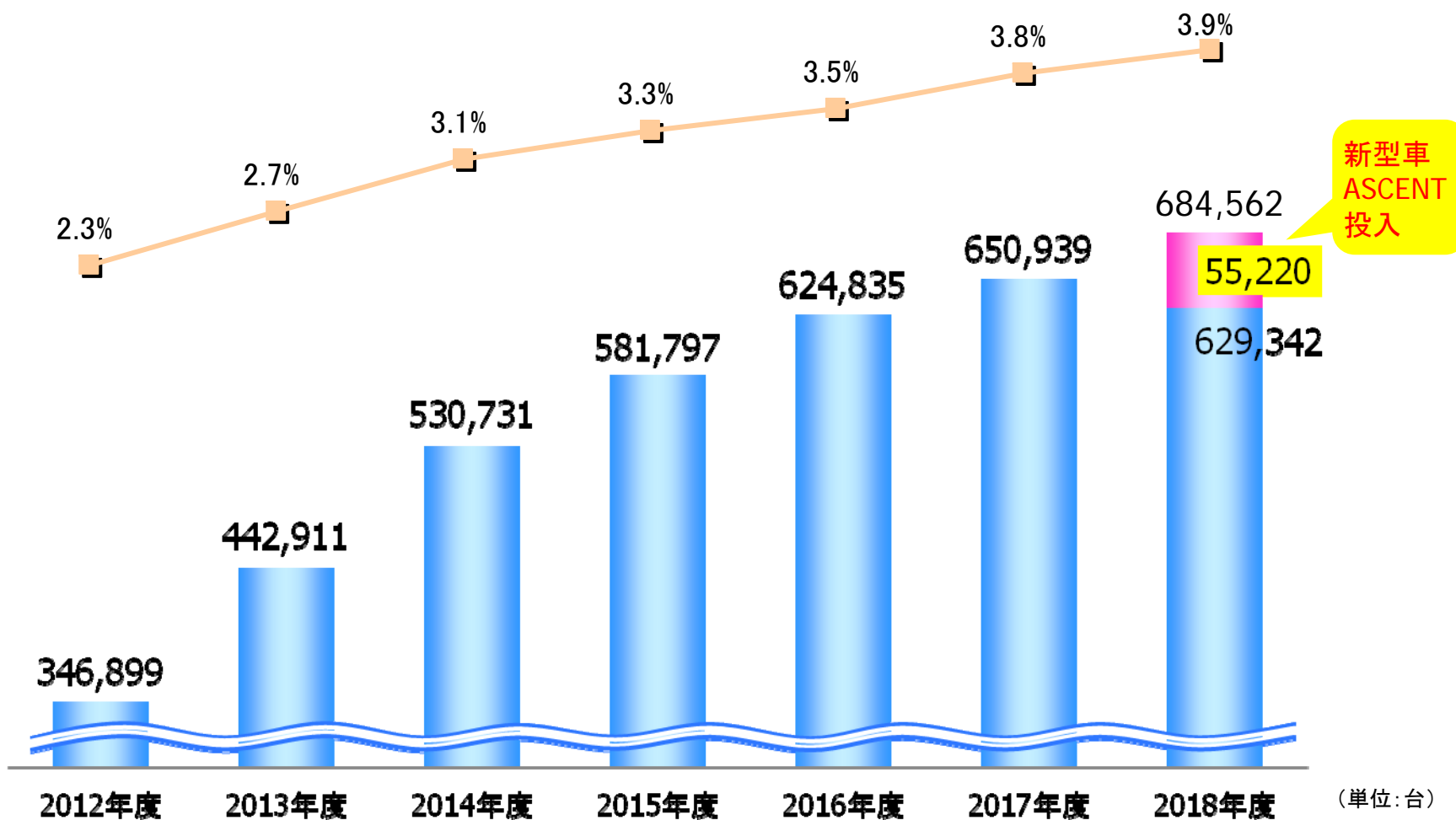
*1: 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

*2: 2018年3月期、販売奨励金控除前の売上高は34,052億円

2019年3月期の振り返り

米国小売販売実績・市場シェアの推移 (シェアは暦年ベース)

米国全需データ出典: Motor Intelligence Report U.S. Market New Vehicle Deliveries 2012 - 2018



2019年3月期の振り返り

中期経営ビジョン STEP (2018年7月10日発表)

0	“Change the Culture” 組織風土改革	「正しい会社」をつくる活動の加速 風土改革に向けた持続的な取り組み		
		モノづくり	販売とサービス	新たなモビリティ領域
1	会社の質の向上	品質改革	お客様接点の質向上	アライアンスの強化
2	強固なブランドの構築	もっと安心、 もっと愉しく	「愛されるクルマ」から 「愛されるクルマ+ ブランド+人々」へ	コネクタを活用した 新価値創出
3	集中戦略を軸とした 持続的成長	SUBARUづくりの 刷新	米国5%シェア挑戦と 世界各地域の着実な成長	新技術・新ビジネスの 創出へのチャレンジ

組織風土改革の推進

2019年3月期の目標

「風通しの良い何でも言える会社」を目指し、全社員が「職場の風土が変わってきた」と変化を感じられていること

具体的な取り組み・・・「経営トップが自ら始めて、上から順に風土を変える」

- 経営層が、具体的な行動を日々実践
- 経営層全員で合宿(2019年3月)
振り返りと課題を共有。
自らが組織風土を変えていくことを宣言。
- 春の労使協議においても、労使で取り組みを
加速させることを確認



組織風土改革の推進・・・製造本部の取り組み例



現場に寄り添う



管理スパン適正化(班長・係長増員)
コミュニケーション時間の設定



「止める、呼ぶ、待つ」の徹底



品質改革への取り組み

再発防止に向けた取り組み

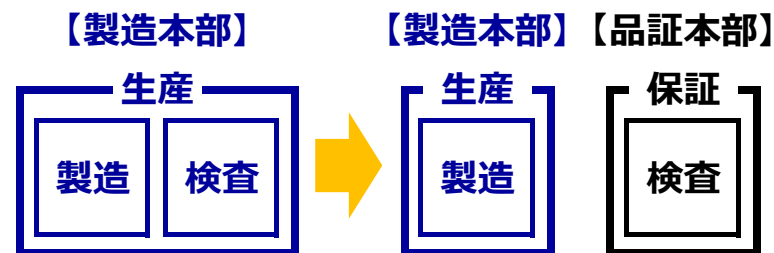
➤ 完成検査員を中心に再教育を行い、毎日の作業振り返りを実施
(2018年10月以降、現在も継続中)



➤ 完成検査に関わる設備・人員の増強、改善を実施



➤ 組織の変更(2018年12月)
完成検査部門を製造本部から品質保証本部へ移管し、検査業務の独立性を確保



品質改革への取り組み

今後は、ハードとソフトの両面での取り組み、実効を上げる

- 全社「品質方針」を改定 (2019年4月1日)
- 設備投資・・・①製造・検査ライン ②研究開発施設・設備
- 職場環境の改善・・・モチベーション向上
- 商品開発日程を見直し・・・品質最優先の観点から
- 人員増強・・・製造、検査・品質保証、技術・商品開発へ幅広く

コーポレートガバナンスの強化

社外取締役の増員

業務執行に対する監督強化のため、第88期定時株主総会にて、社外取締役の増員(2名→3名)を提案予定。

CRMO(最高リスク管理責任者)の新設(2019年4月1日)

グループ全体の内部統制・リスクマネジメント機能を強化するとともに、CRMOの管轄下に関連部署をグループ化し、レポートラインを明確化。

ダイバーシティ経営の推進

第88期定時株主総会にて、当社初の女性社外監査役を提案予定。

2020年3月期に向けて

新型Outback(米国仕様)をNYオートショーで発表(4月17日)

2019年秋、米国・カナダで発売予定
(米国インディアナ州・SIAで生産)

Ascentと共に、北米販売を牽引する
主力モデルのフルモデルチェンジ。



米国市場・・・2019暦年70万台を目指す

2019年4月まで、89ヶ月連続で前年同月超えを達成。
全需が弱い中でも、SUVモデルを中心に確実な成長を見込む。

日本市場・・・信頼回復の取り組みを加速

2019年4月の登録車販売が、18ヶ月振りに前年超えを達成。

販売実績に関する記述はいずれも小売販売台数

2020年3月期 通期計画

(億円)

	2019年3月期 実績 (a)		2020年3月期 計画		ご参考	
	日本基準		IFRS		2020年3月期 計画 (b)	増減
					日本基準	(b)-(a)
連結販売台数	999.9 千台		1058.3 千台		1055.3 千台	+55.4 千台
売上収益*1	31,605		33,100		33,020	+1,415
営業利益	1,955		2,600		2,500	+545
親会社の所有者に帰属する 当期利益*2	1,478		2,100		2,000	+522
為替レート	US\$	¥111	¥110	¥110	-¥1	
	EURO	¥129	¥120	¥120	-¥9	
	CAN\$	¥85	¥80	¥80	-¥5	

*1: 日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示しております。

*2: 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」と表示しております。

株主還元

【一株当たり配当金】

(単位:円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (予定)	2020年3月期 (予想)
第2四半期末	72	72	72
期末	72	72	72
年間合計	144	144	144
配当性向	50.1%	74.7%	52.6%



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみにより全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



2019年3月期 決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員CFO 岡田 稔明
2019年5月10日

| 2019年3月期 実績

通期実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	増減
登録車	132.6	109.7	-22.9
軽自動車	30.9	25.6	-5.3
国内合計	163.4	135.3	-28.1
米国	670.9	659.7	-11.2
カナダ	56.8	56.8	+0.0
ロシア	7.7	8.1	+0.4
欧州	40.2	32.1	-8.1
豪州	55.7	41.7	-13.9
中国	26.9	22.8	-4.1
その他	45.2	43.3	-1.9
海外合計	903.5	864.6	-38.9
合計	1,066.9	999.9	-67.0

通期実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	増減
連結完成車 販売台数 合計	1,066.9	999.9	-67.0

(千台)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	増減
米国生産	348.6	372.2	+23.6
国内生産	701.2	617.0	-84.2
合計	1,049.7	989.1	-60.6

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

通期実績 連結業績

(億円)

		2018年3月期 実績 (a)	2019年3月期 前回計画 (2019/2/7 発表値) (b)	2019年3月期 実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
売上高	(34,052)	32,327	31,200	31,605	-722	+405
国内	(6,686)	6,680	5,698	5,966	-714	+268
海外	(27,367)	25,647	25,502	25,639	-8	+137
営業利益		3,794	1,850	1,955	-1,839	+105
経常利益		3,799	1,930	1,962	-1,837	+32
税前利益		2,973	1,920	1,958	-1,015	+38
親会社株主に帰属する 当期純利益		2,204	1,400	1,478	-725	+78
為替レート	US\$	¥111	¥110	¥111	-¥1	+¥0
	EURO	¥130	¥129	¥129	-¥0	+¥0
	CAN\$	¥87	¥84	¥85	-¥2	+¥0

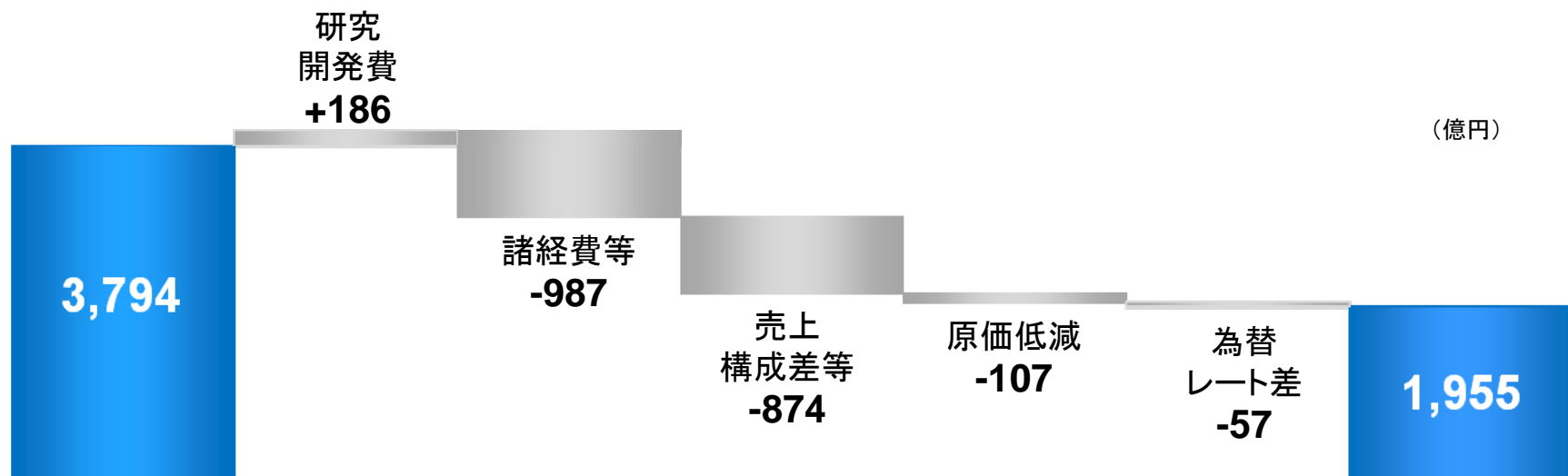
* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値 : 販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

前年実績対比

通期実績 営業利益増減要因



2018年3月期
営業利益
実績

1,839億円の減益

2019年3月期
営業利益
実績

諸経費等 内訳 -987			
製造固定費	-144	販管費	-114
SUBARU	-89	SUBARU	-42
外製型費	-85	国内ディーラー	6
固定加工費	-4	米国	-92
SIA	-55	カナダ	-4
外製型費	-32	その他	18
外製型費	-32		
固定加工費	-23		
		クレーム費	-729

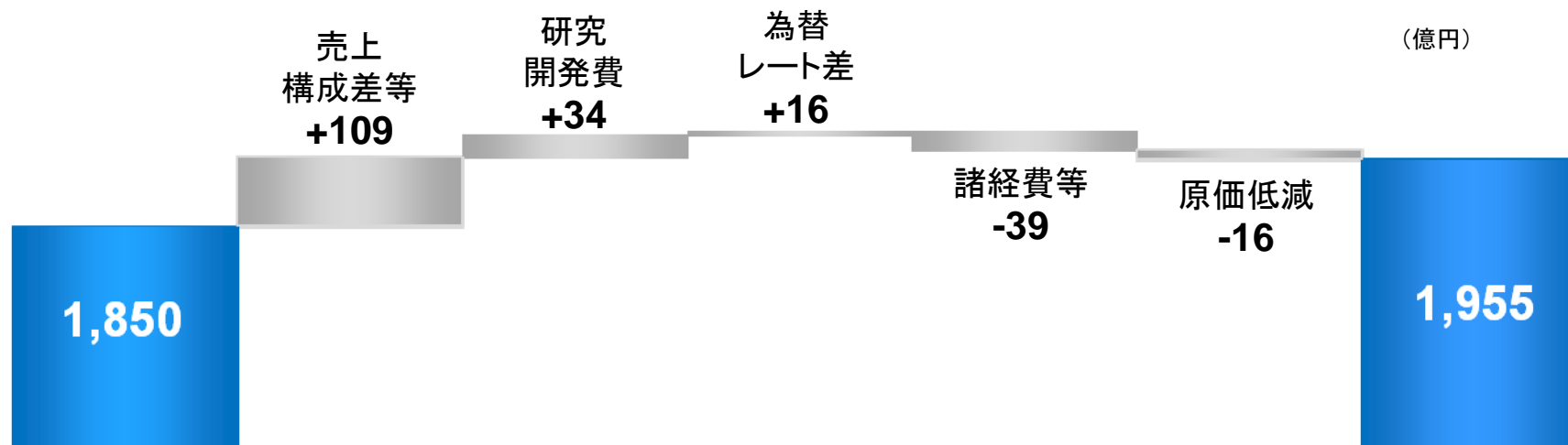
売上構成差 -874	
新車国内	-281
新車海外	-527
販売奨励金	-83
在庫調整等	17

原価低減 -107			
SUBARU	-14	SIA	-93
原価低減	95	原価低減	36
原材料・市況等	-109	原材料・市況等	-129

為替影響 -57	
US \$	-77
EURO	0
CAN \$	-13
中国元	0
仕入為替調整	81
未実現利益分	-48

前回計画(2019/2/7 発表値)対比

通期実績 営業利益増減要因



2019年3月期
営業利益
前回計画
(2/7 発表値)



2019年3月期
営業利益
実績

売上構成差 109		為替影響 16		諸経費等 内訳 -39				原価低減 -16					
新車国内	25	US \$	34	製造固定費	43	販管費	109	クレーム費	-191	SUBARU	-3	SIA	-13
新車海外	-40	EURO	-3	SUBARU	20	SIA	23	SUBARU	31	原価低減	-8	原価低減	15
販売奨励金	44	CAN \$	3	外製型費	-1	外製型費	2	国内ディーラー	8	原材料・市況等	5	原材料・市況等	-28
在庫調整等	80	中国元	0	固定加工費	21	固定加工費	21	米国	-1				
		仕入為替調整	-11					カナダ	13				
		未実現利益分	-7					その他	58				

通期実績 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	増減
売上高	18,402	19,114	+712
営業利益	356	349	-7
当期純利益	235	297	+62
小売販売台数(千台)	651.9	684.3	+32.4

SIA	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	増減
売上高	7,673	8,887	+1,214
営業利益	176	169	-7
当期純利益	134	134	0
生産台数(千台)	348.6	372.2	+23.6

設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	2018年3月期 実績 (a)	2019年3月期 前回計画 (2019/2/7 発表値) (b)	2019年3月期 実績 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資	1,414	1,300	1,135	-279	-165
減価償却費	898	930	888	-10	-42
研究開発費	1,211	1,060	1,027	-184	-33
有利子負債	862	1,000	1,004	+142	+4

* 2019年3月期より会計方針変更にともない、当社および国内連結子会社の一部の有形固定資産の償却方法を定率法から定額法へ変更。

2020年3月期 見通し (IFRS)

当社は2020年3月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたします。

このため、2020年3月期の連結業績見通しはIFRSに基づき作成しております。

尚、IFRS任意適用に伴う連結財務諸表の変化点については参考(2)をご確認ください。

日本基準 / IFRS 主な差異

項目	日本基準	IFRS
研究開発費	発生時に全て費用処理	資産計上の要件を満たす場合は、無形資産とし償却
	営業CFに含める	資産計上の開発費は、投資CFに含める
売上計上基準 (日本国内のみ)	自動車の登録日に売上計上	お客様への納車日に売上計上
リース	ファイナンス・リースは資産計上	オペレーティング・リースも一部資産計上
	オペレーティングリースは営業CF	リース債務の返済は財務CFに含む

通期計画

連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2019年3月期実績 (a)		2020年3月期計画		ご参考	
	日本基準		IFRS		2020年3月期計画 (b)	増減
					日本基準	(b)-(a)
登録車 (*)	109.7	112.3	110.0	+0.3		
軽自動車 (*)	25.6	28.2	27.6	+2.0		
国内合計 (*)	135.3	140.5	137.5	+2.2		
米国	659.7	693.2	693.2	+33.5		
カナダ	56.8	60.0	60.0	+3.2		
ロシア	8.1	8.6	8.6	+0.4		
欧州	32.1	37.7	37.7	+5.6		
豪州	41.7	45.9	45.9	+4.2		
中国	22.8	25.2	25.2	+2.4		
その他	43.3	47.2	47.2	+3.9		
海外合計	864.6	917.8	917.8	+53.2		
合計	999.9	1,058.3	1,055.3	+55.4		

* 日本基準:登録基準、IFRS:納車基準

通期計画 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2019年3月期 実績 (日本基準)	2020年3月期 計画 (IFRS)
連結完成車 販売台数 合計	999.9	1,058.3

(千台)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	増減
米国生産	372.2	388.7	+16.6
国内生産	617.0	667.5	+50.5
合計	989.1	1,056.2	+67.1

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

通期計画 連結業績

(億円)

	2019年3月期 実績 (a)		2020年3月期 計画		ご参考	
	日本基準		IFRS		2020年3月期 計画 (b)	増減
					日本基準	(b)-(a)
売上収益 (*1)	31,605		33,100		33,020	+1,415
国内	5,966		5,841		5,760	-206
海外	25,639		27,260		27,260	+1,620
営業利益	1,955		2,600		2,500	+545
税引前利益 (*2)	1,958		2,700		2,520	+562
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (*3)	1,478		2,100		2,000	+522
為替レート	US\$	¥111	¥110	¥110	¥110	-¥1
	EURO	¥129	¥120	¥120	¥120	-¥9
	CAN\$	¥85	¥80	¥80	¥80	-¥5

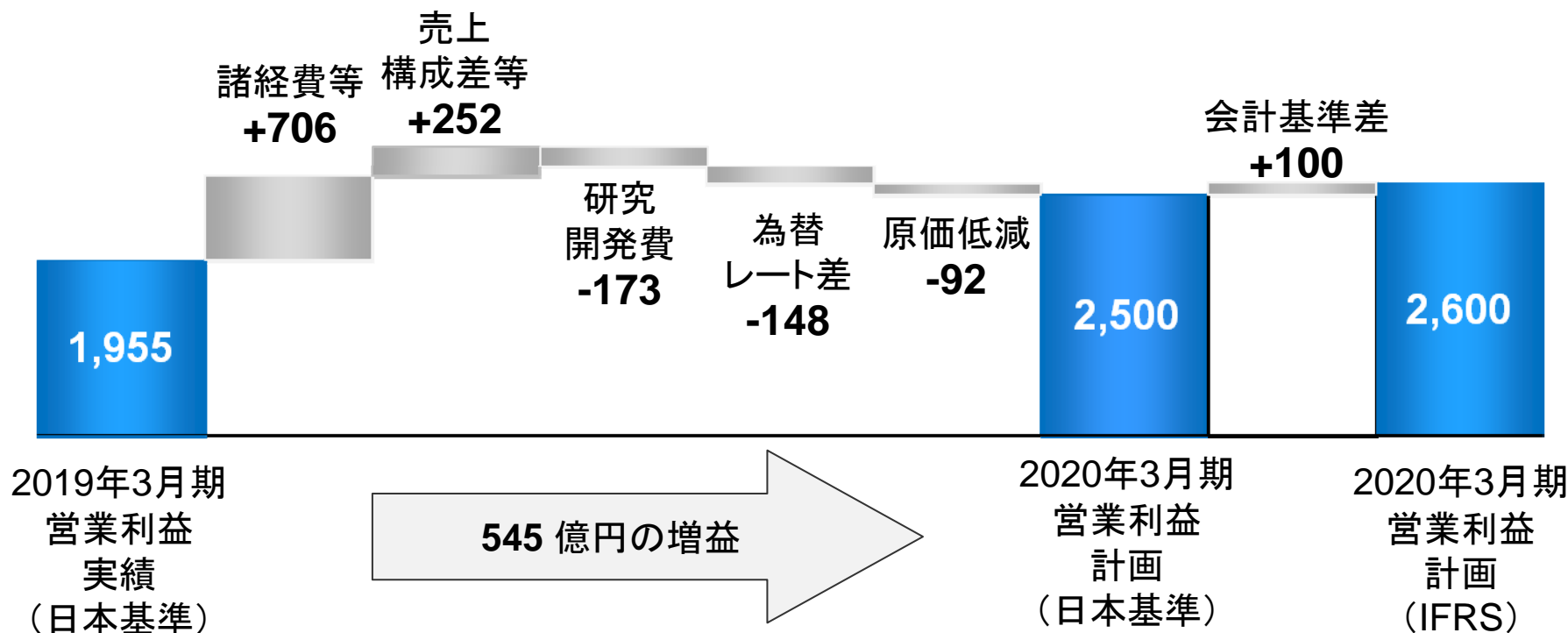
*1 日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示しております。

*2 日本基準における「税前利益」を「税引前利益」と表示しております。

*3 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」と表示しております。

通期計画 営業利益増減要因

(億円)



諸経費等 内訳 706			
製造固定費	-77	販管費	-170
SUBARU	-28	SUBARU	-37
外製型費	0	国内ディーラー	-4
固定加工費	-28	米国	-54
SIA	-49	カナダ	-45
外製型費	-26	その他	-30
固定加工費	-23		

売上構成差 252	
新車国内	-43
新車海外	367
販売奨励金	-65
在庫調整等	-7

為替影響 -148	
US\$	-64
EURO	-31
CAN\$	-38
中国元	0
仕入為替調整	-25
未実現利益分	10

原価低減 -92			
SUBARU	29	SIA	-121
原価低減	120	原価低減	22
原材料・市況等	-91	原材料・市況等	-143

設備投資・減価償却費・研究開発支出・有利子負債

(億円)

	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期計画	増減
設備投資 (*1)	1,135	1,400	+265
減価償却費 (*1)	888	1,000	+112
研究開発支出(*2)	1,027	1,200	+173
有利子負債 (*1)	1,004	1,450	+446

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費およびリース負債は上記の実績・見通しに含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載しております。

尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致します)

ご参考(1)

- ・連結貸借対照表
- ・連結キャッシュフロー
- ・連結営業外収支 / 特別損益
- ・セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・海外売上高
- ・単独販売台数
- ・第4四半期(3カ月) 連結業績
- ・生産台数 / 小売台数 推移

連結貸借対照表

(億円)

	2018年3月末	2019年3月末	増減
総資産	28,665	29,827	+1,163
流動資産	17,704	18,262	+558
固定資産	10,960	11,565	+605
負債合計	13,055	13,699	+644
有利子負債	862	1,004	+142
純資産合計	15,610	16,128	+518
利益剰余金	12,835	13,202	+366
自己資本	15,528	16,053	+524
自己資本比率	54.2%	53.8%	-
D/Eレシオ	0.06	0.06	-

* 税効果会計基準の一部改正にともない、2019年3月期より算出方法を変更。比較年度についても同条件で算出。

通期実績 連結キャッシュフロー

(億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	増減
営業活動CF	3,663	1,740	-1,923
投資活動CF	-1,507	-1,583	-76
フリーCF	2,156	157	-1,999
財務活動CF	-1,709	-966	+743
換算差額	-108	177	+285
現金及び現金同等物の増減	338	-633	-971
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	-5	-	+5
連結子会社の決算期変更による 現金及び現金同等物の増減額	37	-	-37
現金及び現金同等物 合計	7,656	7,023	-633

通期実績 連結営業外収支/特別損益

(億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	増減
金融収支	68	129	+61
為替影響	-51	-72	-21
その他	-12	-50	-38
営業外収支	5	7	+2
固定資産売却益	6	13	+7
投資有価証券売却益	46	37	-10
固定資産除売却損	-54	-56	-2
エアバッグ関連損失	-813	-	+813
その他	-11	3	+14
特別損益合計	-826	-4	+822

通期実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上高				営業利益		
	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 実績	増減	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 実績	増減	
自動車	(32,349)	30,623	30,145	-479	3,615	1,849	-1,765
航空宇宙	(1,422)	1,422	1,317	-105	123	60	-62
その他	(282)	282	144	-138	51	38	-12
消去・全社					7	7	+0
合計	(34,052)	32,327	31,605	-722	3,794	1,955	-1,839

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値 : 販売奨励金控除前

通期実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上高				営業利益		
	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 実績	増減	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 実績	増減	
日本	(10,118)	10,110	8,990	-1,121	2,950	1,147	-1,803
北米	(21,928)	20,276	21,037	+762	694	669	-25
その他	(2,006)	1,941	1,578	-363	72	34	-37
消去・全社					79	105	+26
合計	(34,052)	32,327	31,605	-722	3,794	1,955	-1,839

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値 : 販売奨励金控除前

通期実績 連結海外売上高

(億円)

	2018年3月期 実績		2019年3月期 実績	増減
北米	(23,058)	21,406	22,017	+611
欧州	(1,191)	1,181	1,005	-176
アジア	(1,406)	1,351	1,164	-187
その他	(1,712)	1,709	1,453	-256
合計	(27,367)	25,647	25,639	-8

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値：販売奨励金控除前

通期実績 単独販売台数

(千台)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	増減
国内生産	701.2	617.0	-84.2
国内売上	168.9	140.7	-28.2
登録車	137.2	114.4	-22.8
軽自動車	31.7	26.3	-5.4
輸出台数	556.5	491.5	-65.0
海外生産用部品	348.1	403.0	+54.8
単独売上合計	1,073.5	1,035.2	-38.3

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

第4四半期 (3ヵ月)実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2018年3月期 4Q実績	2019年3月期 4Q実績	増減
登録車	34.9	29.8	-5.1
軽自動車	9.7	7.0	-2.7
国内合計	44.6	36.8	-7.8
米国	161.9	163.8	+1.9
カナダ	12.3	9.6	-2.8
ロシア	2.1	1.6	-0.5
欧州	11.7	6.2	-5.5
豪州	13.6	6.0	-7.6
中国	5.4	6.1	+0.8
その他	13.4	7.6	-5.8
海外合計	220.4	201.0	-19.5
合計	265.0	237.8	-27.3

第4四半期 (3ヵ月)実績 連結業績

(億円)

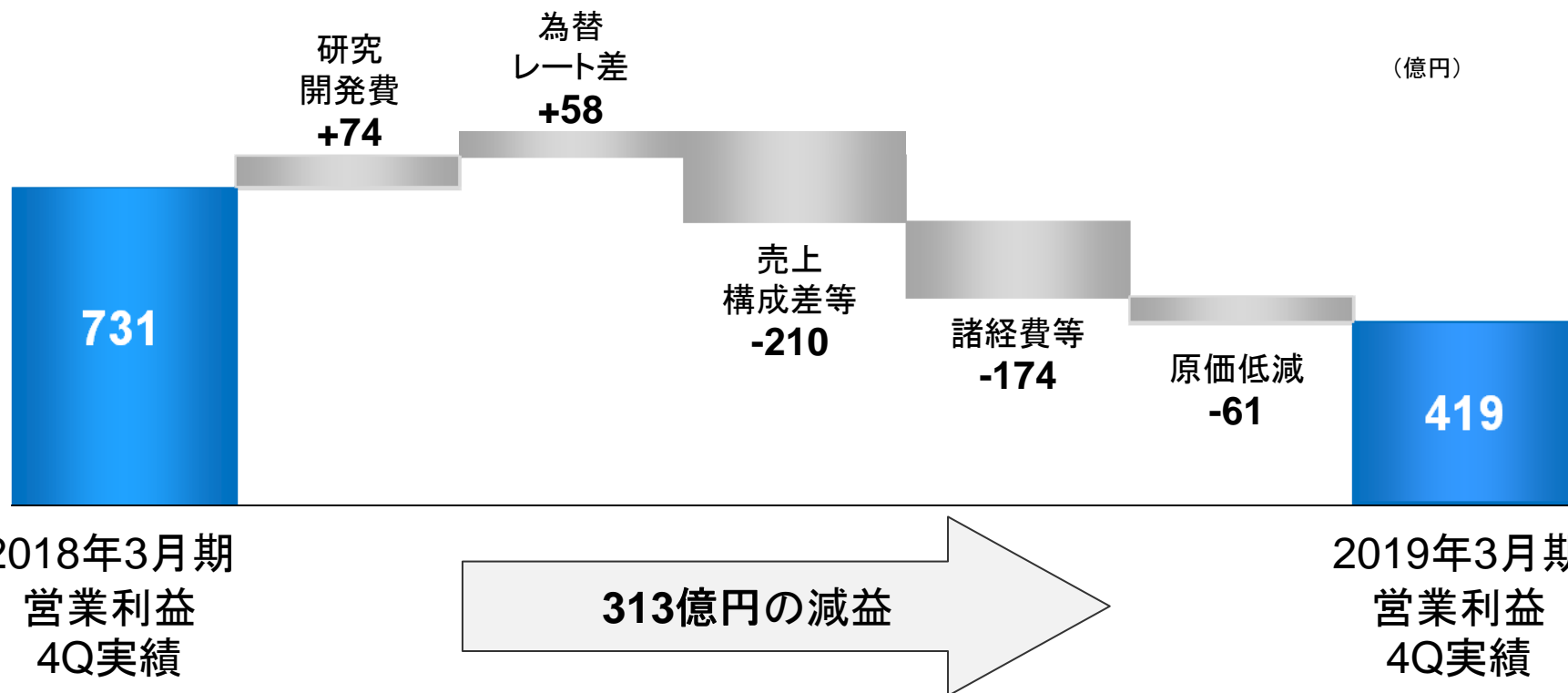
		2018年3月期 4Q実績		2019年3月期 4Q実績	増減
売上高	(8,406)	7,949	7,831	-118	
国内	(1,840)	1,838	1,608	-230	
海外	(6,565)	6,111	6,223	+111	
営業利益		731	419	-313	
経常利益		768	392	-376	
税前利益		797	378	-419	
親会社株主に帰属する 当期純利益		675	296	-379	
為替レート	US\$	¥110	¥110	+¥0	
	EURO	¥134	¥126	-¥8	
	CAN\$	¥88	¥83	-¥4	

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値：販売奨励金控除前

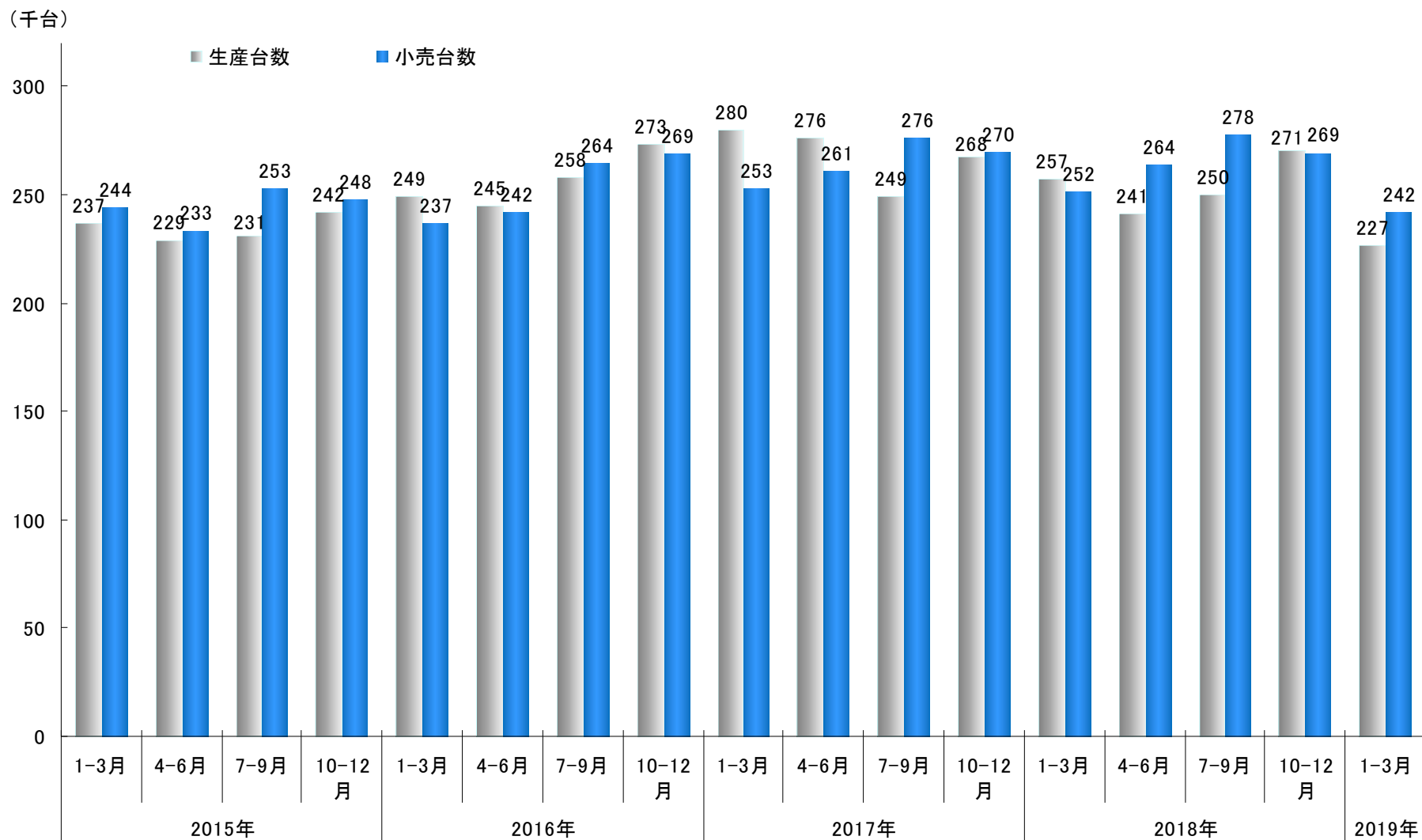
前年実績対比

第4四半期 (3ヵ月)実績 営業利益増減要因



為替影響 58		売上構成差 -210		諸経費等 内訳 -174				原価低減 -61					
US \$	5	新車国内	-76	製造固定費	-15	販管費	-23	クレーム費	-136	SUBARU	-6	SIA	-55
EURO	-5	新車海外	-218	SUBARU	-2	SIA	-13	SUBARU	-2	原価低減	36	原価低減	9
CAN \$	-6	販売奨励金	33	外製型費	-24	外製型費	-5	国内ディーラー	6	原材料・市況等	-42	原材料・市況等	-64
中国元	0	在庫調整等	51	固定加工費	22	固定加工費	-8	米国	-27				
仕入為替調整	49							カナダ	-3				
未実現利益分	15							その他	3				

生産台数 / 小売台数 推移



* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

ご参考(2)

IFRS任意適用に伴う連結財務諸表の変化点

当該情報は確定前の情報であるため、後日公表する当社の実際のIFRSに基づく連結財務諸表と異なる可能性があります。

連結損益計算書

日本基準	IFRS
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販売費及び一般管理費	販売費及び一般管理費
営業利益	研究開発費
営業外収益・費用	その他の収益
持分法による投資損益	その他の費用
減価償却費	持分法による投資損益
その他	営業利益
受取利息	金融収益
受取配当金	金融費用
支払利息	税引前利益
為替差損益	法人所得税費用
デリバティブ評価損益	当期利益
経常利益	当期利益の帰属:(内訳)
特別損益	親会社の所有者
固定資産売却益	非支配持分
固定資産除売却損	
減損損失	
その他	
投資有価証券売却損益	
税金等調整前当期純利益	
法人税、住民税及び事業税	
法人税等調整額	
当期純利益	
非支配株主に帰属する当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益	

1) 日本基準の「販売費及び一般管理費」を「販売費及び一般管理費」及び「研究開発費」として表示。

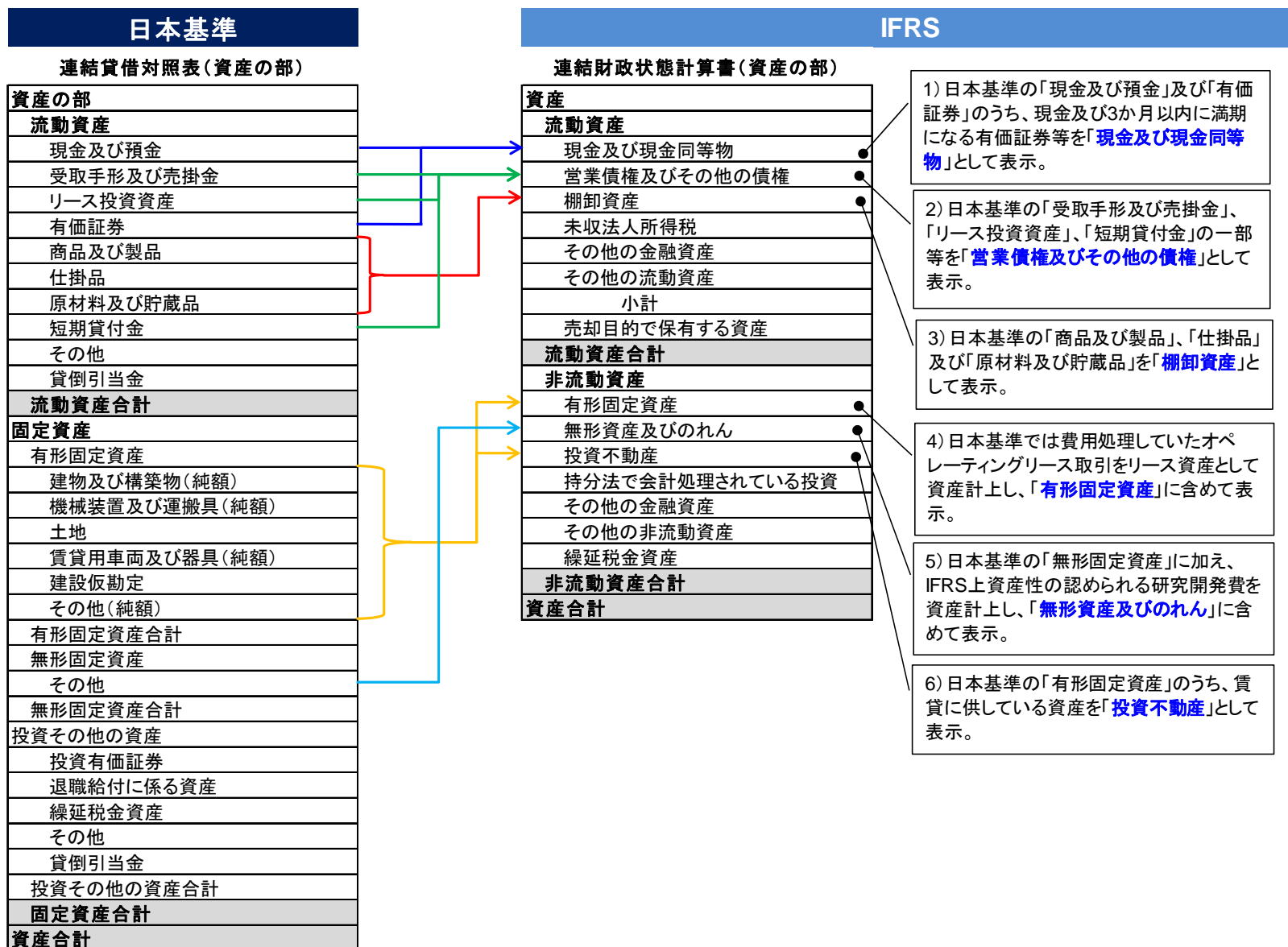
2) IFRS上の「営業利益」を表示。但し、日本基準の「営業利益」と構成が異なり、日本基準の「営業外収益・費用」、「特別損益」の一部を含む。

3) 日本基準の「受取利息」、「受取配当金」、「支払利息」、「為替差損益」、「デリバティブ評価損益」を「金融収益」及び「金融費用」として表示。

4) 日本基準の「経常利益」の概念がなく、IFRSの「営業利益」から「金融収益」及び「金融費用」を加減算し「税引前利益」を算出。

5) 日本基準の「投資有価証券売却損益」は包括利益計算書に計上。

連結財政状態計算書(資産の部)



連結財政状態計算書(負債及び資本の部)

日本基準	IFRS
連結貸借対照表(負債及び資本の部)	連結財政状態計算書(負債及び資本の部)
負債の部	負債及び資本
流動負債	負債
支払手形及び買掛金	流動負債
電子記録債務	借入金
短期借入金	営業債務及びその他の債務 ●
1年内返済予定の長期借入金	その他の金融負債
未払法人税等	未払法人所得税
未払費用	引当金 ●
賞与引当金	その他の流動負債
製品保証引当金	流動負債合計
工事損失引当金	非流動負債
事業終了損失引当金	借入金
その他	その他の金融負債
流動負債合計	従業員給付 ●
固定負債	引当金 ●
長期借入金	その他の非流動負債
繰延税金負債	非流動負債合計
製品保証引当金	負債合計
役員退職慰労引当金	資本
退職給付に係る負債	親会社の所有者に帰属する持分
長期前受収益	資本金
その他	資本剰余金
固定負債合計	自己株式
負債合計	利益剰余金 ●
純資産の部	その他の資本の構成要素 ●
株主資本	親会社の所有者に帰属する持分合計
資本金	非支配持分
資本剰余金	資本合計
利益剰余金	負債及び資本合計
自己株式	
株主資本合計	
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	
為替換算調整勘定	
退職給付に係る調整累計額	
在外子会社のその他退職後給付調整額	
その他の包括利益累計額合計	
非支配株主持分	
純資産合計	
負債純資産合計	

1) 日本基準の「支払手形及び買掛金」、「電子記録債務」等を「**営業債務及びその他の債務**」として表示。

2) 日本基準の「賞与引当金」、「製品保証引当金」、「工事損失引当金」、「事業終了損失引当金」を「**引当金**」として表示。

3) 日本基準の「役員退職慰労引当金」及び「退職給付に係る負債」等を「**従業員給付**」として表示。

4) 日本基準の「製品保証引当金」等を「**引当金**」として表示。

5) 日本基準の「退職給付に係る調整累計額」及び「在外子会社のその他退職後給付調整額」を「**利益剰余金**」に含めて表示。

6) 日本基準の「その他有価証券評価差額金」及び「為替換算調整勘定」を「**その他の資本の構成要素**」として表示。

連結キャッシュフロー

日本基準	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	
減価償却費	
貸倒引当金の増減額(△は減少)	
製品保証引当金の増減額(△は減少)	
受取利息及び受取配当金	
支払利息	
固定資産除売却損益(△は益)	
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	
営業貸付金の増減額(△は増加)	
売上債権の増減額(△は増加)	
たな卸資産の増減額(△は増加)	
仕入債務の増減額(△は減少)	
未払費用の増減額(△は減少)	
その他	
小計	
利息及び配当金の受取額	
利息の支払額	
法人税等の支払額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額(△は増加)	
有価証券の取得による支出	
有価証券の売却による収入	
固定資産の取得による支出	
固定資産の売却による収入	
投資有価証券の取得による支出	
投資有価証券の売却及び償還による収入	
貸付けによる支出	
貸付金の回収による収入	
その他	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	
長期借入れによる収入	
長期借入金の返済による支出	
自己株式の取得による支出	
配当金の支払額	
その他	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
現金及び現金同等物に係る換算差額	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	
現金及び現金同等物の期首残高	
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	
現金及び現金同等物の期末残高	

IFRS	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期利益	
減価償却費及び償却費	●
金融収益	
金融費用	
持分法による投資損益(△は益)	
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	
棚卸資産の増減(△は増加)	
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	
引当金及び従業員給付に係る負債の増減(△は減少)	●
その他	
小計	
利息の受取額	
配当金の受取額	
利息の支払額	
法人所得税の支払額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	●
有形固定資産の売却による収入	
無形資産の取得及び内部開発にかかわる支出	●
その他の金融資産の取得による支出	●
その他の金融資産の売却ないし回収による収入	●
その他	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減(△は減少)	
長期借入れによる収入	
長期借入金の返済による支出	
自己株式の売却による収入	
自己株式の取得による支出	
親会社の所有者への配当金の支払額	
リース負債の返済による支出	●
その他	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
現金及び現金同等物の為替変動の影響額	
現金及び現金同等物の増減(△は減少)	
現金及び現金同等物の期首残高	
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	
現金及び現金同等物の四半期末残高	

1) 日本基準では費用処理されていたオペレーティングリース取引をリース資産・リース負債にオンバランスし、このうちの減価償却費を「**減価償却費及び償却費**」に含めて表示。

2) 日本基準の「製品保証引当金の増減額」及び「その他」に含まれる引当金の増減等を「**引当金及び従業員給付に係る負債の増減**」として表示。

3) 日本基準の「固定資産の取得による支出」を「**有形固定資産の取得による支出**」と「**無形資産の取得及び内部開発に係る支出**」として表示。

4) 日本基準の「有価証券の取得による支出」を「投資有価証券の取得による支出」と「貸付けによる支出」を「**その他の金融資産の取得による支出**」として表示。

5) 日本基準の「有価証券の売却による収入」を「投資有価証券の売却及び償還による収入」と「貸付金の回収による収入」を「**その他の金融資産の売却ないし回収による収入**」として表示。

6) 日本基準では費用処理されていたオペレーティングリース取引をリース資産・リース負債にオンバランスし、このうちリース負債の返済を「**リース負債の返済による支出**」として表示。



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみにより全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>